

市政に 対する 一般質問

〓〓〓9名の議員が質問〓〓〓

9月定例会の一般質問は、9月4日・5日の2日間にわたって行われました。質問の要旨は次のとおりです。

高子 秀明 白石市学校教育・保育審議会答申における学校再編に関して

大内 卓也 本市の廃校活用について

佐藤 龍彦 市道の維持管理(除草)について

佐久間儀郎 公立刈田総合病院の運営状況について

村上 由紀 学力向上について

佐久間順子 未就学の発達障害の支援について

大森 貴之 市・施設防犯カメラの増設について

角張 大治 今後の本市の行財政運営について

四竈 英夫 新議会に対する市長の所感と期待について

白石市学校教育・保育審議会答申 における学校再編に関して

高子 秀明



あったと考える。

〔質問〕審議会において、本市の「全国学力・学習状況調査」の結果に係る今後の課題を加味した学校再編の審議を進めてきたのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕審議を進めるにあたり、答申の内容から、公表している本市全体の全国学力・学習状況調査の結果と分析の内容、特色ある教育活動、また、学校規模と学力の関係といった学びの環境等、さまざまな観点から総合的に判断し、答申を作成したと認識をしており、全国学力学習状況調査の結果はその勘案する一つの材料で

あったと考える。
〔質問〕地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に基づいた学校運営協議会制度「コミュニティスクール」について、各地の事例を参考にし、本市にとって最適であるからして導入を提案されたと察するが、具体的な事例をもとに「コミュニティスクール」についての見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕市内においては令和2年度より小原小・中学校に導入をしている。「コミュニティスクール」は、地域とともにある学校づくりにおいて、保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に直接参画するものであることから、審議会においては、その趣

旨や方策が、答申を作成するにあたり、今後の学校経営に重要であると話し合われたことにより、「コミュニティスクール」の導入を取り入れたものとの認識している。

〔質問〕本市が新たに2026年度オープンを目指す整備を検討する全天候型の市民プールの候補地として、福岡中学校敷地内が浮上。市民も利用できる学校プールを基本とするとの新聞報道があった。学校再編案との兼ね合いについて、詳細を伺う。

〔答弁〕〔市長〕教育委員会から、市内の小・中学校、児童・生徒が時期を問わず利用できるよう、利便性の良い場所に全天候型プールの整備を行うよう要望されているところである。学校再編に係る市の方針は未定であり、プールに関しては別の課題とご理解をいただきたい。